



## CONTENTS

- 02 岩手県への提出意見を承認  
平成29年度第2回岩手県保険者協議会
- 03 30年度事業計画案など協議  
平成29年度第2回岩手県保険者協議会合同専門部会
- 04 30年度事業計画など審議  
国保連合会「役員会」  
市町村医師養成修学生の選考基準を了承  
平成29年度第2回市町村医師養成協議会運営委員会
- 05 「岩手の保健」第220号 3月5日に発刊
- 06 14保険者のデータヘルス計画案に助言  
平成29年度岩手県国保連合会保健事業支援・評価委員会

- 07 国保制度改革における国保連合会事業を説明  
平成29年度第2回国保地区協議会事務局長会議  
創立60周年記念集会は6月に開催  
岩手県地域医療研究会「役員会」
- 08 岩手県市町村医師養成事業「修学生募集」

今月の表紙  
「作製の風景」  
株式会社五六堂印刷

本紙「情報国保連」は株式会社五六堂印刷さんに作製いただいています。

本号の作製も佳境に迫った2月23日、株式会社五六堂印刷さんを取材。担当のスタッフさんはさまざまな技術を駆使し、テキパキと作業を進めていました。いつもありがとうございます。

# 岩手県への提出意見を承認

## 規程等の改正は継続協議

### 平成29年度第2回岩手県保険者協議会

岩手県保険者協議会（会長・高橋昌造矢巾町長）は1月19日、国保会館で29年度第2回目の本協議会を開催した。会議には医療保険者などを代表する11人が出席し、本協議会に提出を求められている医療計画及び医療費適正化計画の中間案に対する意見のほか、本協議会設置運営規程等の改正について協議した。

冒頭、高橋昌造会長は「皆さんのご助言ご指導をいただきながら本協議会の運営を進めていきたい。ご協力をお願いする」とあいさつした。

次に、「岩手県保健医療計画（2018―2023）」及び「第3期



医療計画及び医療費適正化計画の中間案に対する提出意見の協議が行われた

医療費適正化計画」の中間案について、岩手県に対する提出意見の協議が行われた。

平成27年4月改正の医療法及び平成28年4月改正の高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成29年12月に岩手県保健福祉部長より「岩手県保健医療計画」及び「第3期医療費適正化計画」の中間案について、岩手県保険者協議会に対し意見照会があった。これを受け、事前に構成団体へ意見等を求め、集約した内容について協議が行われた。

### 主な意見を3点に集約

主な意見内容は、特定健康診査及び特定保健指導とたばこ対策に関する意見となっており、特定健診等については「受診率及び実施率の向上は、住民の健康の保持推進及び生活習慣病対策の推進において必要不可欠である」とたばこ対策については「生活習慣病と

の関連が深いとされている喫煙の対策として、喫煙率の減少や受動喫煙のない職場の実現（受動喫煙防止対策を実施していない職場割合の低下）の目標値を平成32年度までに0%にすることは、大変評価できるものである」とした上で、岩手県に対する提出意見（左表参照）が承認された。

これに併せ、後発医薬品と薬局調剤医療費の相関関係の記述を追加する意見についても同じく承認された。

### 今後は事務局体制も協議

続けて、岩手県保険者協議会設置運営規程等の改正について協議が行われた。

同協議会にオブザーバー参加している岩手県健康国保課の湊俊哉主任主査から平成30年1月15日付け厚生労働省保険局発出「『保険者協議会開催要領』の一部改正について」の内容説明が行われ、同協議会設置運営規程等も通知

に沿った形で改正を進めるとともに、事務局体制についても協議していくこととした。



保険者協議会設置運営規程等の改正や事務局体制の見直しの必要性が周知された

#### 特定健診等について

特定健診等の受診率及び実施率の目標値は、現状値と大きく乖離していることから、目標達成に向けた全県的な取り組みのために、岩手県のリーダーシップのもと、具体的な施策を実施していただきたい。

また、来年度より国民健康保険の保険者として構成員に位置付けられる保険者協議会の場においても、これまで以上の保険者間の連携が深まるよう、県としての積極的な御指導を要望します。

#### たばこ対策について

喫煙は、がん、虚血性心疾患及び脳血管疾患などの罹患において大きな影響を与えることから、岩手県のリーダーシップのもと、関係機関との連携を図り、具体的な施策につなげていただきたい。

また、来年度より国民健康保険の保険者として構成員に位置付けられる保険者協議会の場においても、これまで以上の保険者間の連携を図れるよう、県としての積極的な御指導を要望します。

#### 後発医薬品と薬局調剤医療費の相関関係について

後発医薬品の使用割合は高いにもかかわらず、薬局調剤医療費の構成割合は全国平均を上回っていることから、【現状と課題】の項目に、データに基づいた詳細な記述を追加していただきたい。

また、上記に関する【課題への対応】の記述を追加することについても検討願います。

「岩手県保健医療計画（2018―2023）」及び「第3期医療費適正化計画」の中間案に対する提出意見



# 30年度事業計画案など協議

## 平成29年度第2回岩手県保険者協議会合同専門部会

岩手県保険者協議会（会長・高橋昌造矢巾町長）は2月8日、国保会館で29年度第2回目の合同専門部会（企画調査部会・保健活動部会）を開催した。

医療保険者などを代表する18人が出席した合同専門部会では、岩手県医療政策室の担当者から医療費適正化計画の最終案について事前説明が行われたほか、30年度事業計画案や予算案が協議された。

会議では、健康保険組合連合会岩手連合会事務局長の小田嶋佳子企画調査部会長を座長に選出した。初めに、岩手県医療政策室担当の千田真広医療政策室担当課長から、第3期医療費適正化計画の中間案に対し、本協議会が提出した意見への回答及び最終案について事前説明が行われた。

専門部会員からは禁煙対策の充実について意見が出され、最終案へ検討いただくよう求めた。今後は3月に開催予定の本協議会において正式な最終案をもとに協議が行われ、岩手県と協議書を取り交わす予定となっている。

次に、事務局より特定健診等の保険者間における情報提供調査の報告や地域医療構想調整会議の参加者から出席した会議の報告が行われた。



活発な意見交換が行われた合同専門部会

また、30年1月15日付け厚労省通知「保険者協議会開催要領の一部改正」に沿って本協議会設置運営規程等の改正内容のほか、30年度の事業計画案及び予算案を協議し、出された意見等を踏まえ3月に開催予定の本協議会で提案することとされた。

また、事務局より市町村国保における30年度特定健診・特定保健指導の実施状況の予定を報告し、出席した各専門部会員からも情報提供が行われた。

## 特定(後期)健診・特定保健指導を受けましょう!!

元気でも、  
通院していても

【特定健診】40歳～75歳未満の被保険者、被扶養者の方すべてが対象です。  
【後期健診】原則として後期高齢者医療制度に加入されている75歳以上の方が対象です。

### 特定(後期)健診・特定保健指導を受けるとこんなメリットがあります!

#### 健康状態の確認で生活習慣病を予防

進行するまで自覚症状がない生活習慣病。  
健診をきっかけに健康状態を確認することで多くの生活習慣病は予防可能です。



#### 健康づくりをサポート

生活習慣病のリスクが高い方は、特定保健指導を受けることで、医師、保健師、管理栄養士が生活改善の方法と一緒に考えてくれます。



#### 生活習慣病予防で家計を守る

糖尿病の年間の自己負担は、食事運動療法で3万円、薬で9万円、インスリン治療で15万円も必要です。病気の予防は、家計の支出を抑えてくれます。



#### 国民医療費の増加にブレーキ

増加し続ける国民医療費、その3割は生活習慣病です。予防することができれば、医療費の増加にもブレーキがかけられます。



\*特定(後期)健診と各種がん検診と同時実施している市町村があります\*

### 岩手県保険者協議会

(国民健康保険、全国健康保険協会、健康保険組合、共済組合、岩手県後期高齢者医療広域連合)

# 30年度事業計画案など審議 国保中央会負担金の提案内容も説明

## 国保連合会「役員会」

本会役員会は2月6日、国保会館で開催され、報告事項として職員の育児休業等に関する規程の一部改正や柔道整復師施術療養費審査会規程の一部改正などが承認された。また、議決事項では、規約の一部改正、30年度事業計画案、30年度一般会計予算案などが審議され、本会通常総会に諮ることが議決された。

役員会は谷藤裕明理事長（盛岡市長）があいさつした後、議長に谷藤理事長、議事録署名員に高橋昌造理事（矢巾町長）と高橋由一理事（金ケ崎町長）を選出し議案審議が行われた。

◆報告事項  
報告事項では▽職員の育児休業等に関する規程の一部改正▽柔道整復師施術療養費審査会規程の一部改正▽職員就業規則の一部改正▽職員給与規程の一部改正―など6項目を報告し承認された。



30年度一般会計予算案など全47議案の審議が行われた

### ◆議決事項

議決事項では▽規約の一部改正（国民健康保険法の改正等によるもの）▽損害賠償請求事務共同処理業務規則の一部改正（損額賠償請求事務の取り扱い範囲拡大及び手数料の徴収に伴うもの）▽国保データベース（KDB）システムの手数料に関する規程の制定▽保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業規則の廃止（国保の都道府県単位化に伴うもの）▽平成29年度事業計画▽平成30年度一般会計予算―など全47議案が審議され、本会通常総会に諮ることが議決された。

このほか、事務局からは昨年度国保中央会が示した国保中央会への負担金の増額について情報提供があり、平成31年度以降は増額が見込まれることが説明された。

## 市町村医師養成修学生の選考基準を了承 事業実施規則等の一部改正も協議

### 平成29年度第2回市町村医師養成協議会運営委員会

市町村医師養成事業の運営方法などを協議する市町村医師養成協議会運営委員会は2月14日、国保会館で29年度第2回目の会議を開催した。

本会の佐藤新事務局長を座長に選出して行われた委員会では、市町村養成医師の初期臨床研修の状況や29年度市町村医師養成事業特別会計決算見込などが報告されたほか、市町村養成医師の配置調整原案や市町村医師養成事業実施規則等の一部改正、30年度市町村医師養成事業貸付に係る選考基準などを協議した。

協議事項の市町村養成医師の配置調整原案について、事務局は「新旧制度を合わせると52人中義務履行19人、猶予13人、未定7人、初期臨床研修13人の状況となっている。今後も養成医師や修学生との面談を強化し、義務履行や市町村立病院勤務につながるよう取り組んでいきたい」と説明した。

また、市町村医師養成事業実施規則等の一部改正では、修学資金の分割償還や医師免許取得期間の制限について協議が行われ、7月に開催する国保連合会役員会に改正案を諮る方針を決定

した。

このほか、30年度市町村医師養成事業貸付に係る選考基準については、事務局から修学生の選考基準案や面接判定の方法などが示され、了承された。

同選考は3月24日（土）と4月7日（土）、それぞれ国保会館で午前9時から行われ、事務局では、面接及び書類審査による採用結果を4月中旬にも通知する予定としている。



委員会では養成医師の配置調整案や修学生の選考基準など協議した



# 「岩手の保健」第220号 3月5日に発刊

## 特別寄稿

保健医療特講ゼミ

—医師と患者のありよう— (6)

日本公衆衛生学会名誉会員・元札幌医科大学教授 ..... 前田信雄

## 特集

生活習慣病・メタボリック症候群対策を探る

口腔保健は生活習慣病対策の一環として (その 25)

脳卒中対策—私の個人的な体験から思うこと—

健康づくり総合アドバイザー・歯科医師 ..... 田沢光正

## 地域に生きる保健活動

シルバーリハビリ体操指導者の活動を支援して

—一人と人、心をつなぐまちづくり—

西和賀町健康福祉課保健師 ..... 菅野亜沙子

## 特別寄稿

認知症のことは認知症の人に学ぼう

NHK放送総局大型企画開発センター ディレクター ..... 平田知弘

## シリーズ保健師を訪ねて⑱

わがまちの保健師の現場から

平泉町保健センターの巻 ..... 編集部

## 特別寄稿

発達障がい外来から

子どもの特性の理解と対応 (3)

みちのく療育園副施設長小児科医 ..... 川村みや子

## らんどあるつと

随想

「平成28年度腎国自治体病院協議会海外  
視察研修に参加して」

町立西和賀さわうち病院歯科科長  
..... 内記恵

診療所の窓から

へき地医療貢献者表彰を受賞して  
洋野町国保大野診療所所長

..... 中村晴彦

国保直診だより

地域医療の現場から

—関市国保宝根歯科診療所所長  
..... 古川良俊

新国保葛巻病院とともに

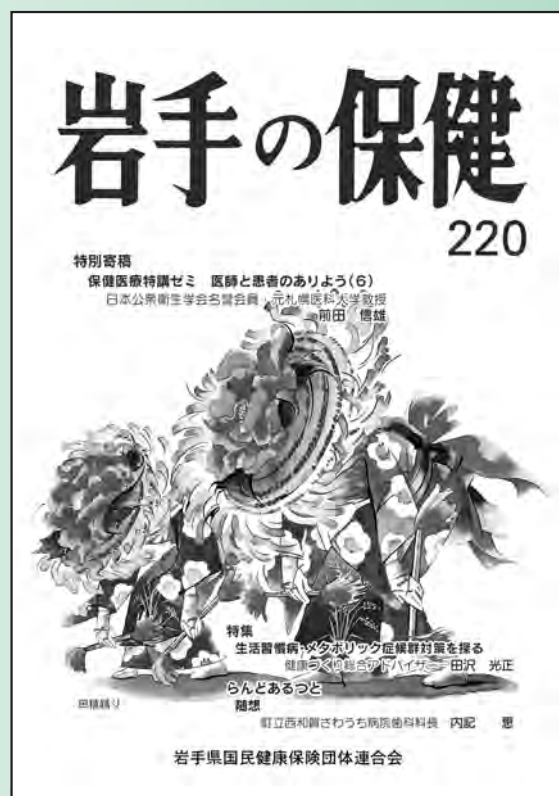
国保葛巻病院事務局長  
..... 松浦利明

## 特別寄稿

「先に逝きます」

川村腎・泌尿器科皮膚科クリニック院長  
..... 川村繁美

—  
良い医師になるための条件は何か。  
—



# 14保険者のデータヘルス計画案に助言

## 活発な意見交換で疑問点を解消

### 平成29年度岩手県国保連合会保健事業支援・評価委員会

本会は1月11、18、26日の3日間、国保会館で平成29年度岩手県国保連合会保健事業支援・評価委員会(委員長・坂田清美岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座教授)を開催した。委員会では、今年度「データヘルス計画の策定支援を希望した15保険者のうち14保険者が同計画案を提出し、本会保健事業支援・評価委員とのディスカッションが行われた。

本会保健事業支援・評価委員会では、保険者からのヒアリング後の修正部分や疑問点などが説明され、委員5人は保険者の疑問に答えながら、データヘルス計画案への助言を行った。

### 伝わる計画にするために

この中で、保険者からは「マンパワー不足のために国保担当課が単独で取り組めない健康課題でも、データヘルス計画に提示した方がよいか」との質問が出され、委員からは「問題の共有が大事であり、そのためには課題を明確に示すこと。国保の保健事業を全課で取り組むためにも、計画作りは課題を分かりやすくまとめる作業になる」と答えた。

また、グラフの作成の原則として「直感的に理解できるようにグラフの種類、配色等に配慮しながらシンプルに作ることが重要」とアドバイスした。加えて、委員は多くの保険者で誤解を招くグラフの作り方をしていることを指摘し、「縦軸の目盛をゼロから表示しないとデータの差が大きく見えるため、グラフを見誤る可能性がある」と注意を促した。

### 目的別で年齢調整の設定を

また、保険者からは計画の目標に関する質問が複数寄せられた。

中でも、糖尿病重症化予防に関する評価目標に関して、委員は「年間の透析新規導入者数でも良いが、人数が少ない場合は、透析に至る要因のコントロール強化の視点で考えることも評価の手段のひとつである」と述べた。

さらに、保険者から「第1期計画では『1人当たりの医療費』を指標にしたが、高額薬剤もあり、医療費が跳ね上がったので、標準化医療費を指標に考えた」との意見が出された。

このことについて委員からは、「国や県等と比較する場合には、年齢構成



延べ3日間にわたり助言した本会保健事業支援・評価委員会(写真1月18日)



委員会は委員と保険者担当者の対話形式で行われた(写真1月26日)

### 29年度内の計画策定を目指し

の影響を取り除くために年齢調整をする。しかし、保険者にとって大事なのは自分たちの医療費の変化であり、目的によって年齢調整の有無を使い分ける必要がある」と助言した。

最後に、委員から「データヘルス計画の策定は膨大な作業であり大変だと思うが、これを学習・成長の機会としてほしい」と締めくくった。

支援保険者は今回の助言や他の支援保険者のデータヘルス計画案を参考に、計画策定作業を進め、29年度内の策定を目指す。なお、残りの1保険者には、30年3月に開催する同支援・評価委員会で助言を行う予定としている。



# 国保制度改革における国保連合会事業を説明

## 市町村支援に新たな事業も検討

### 平成29年度第2回国保地区協議会事務局長会議

本会は2月16日、国保会館で平成29年度第2回国保地区協議会事務局長会議を開催した。各保地区から7人が出席した会議では、平成30年度の国保連合会の事業を説明したほか、国保地区協議会交付金の在り方などを協議した。

会議では、本会の菅原和彦専務理事のあいさつの後、盛岡市健康保険課の池田陽一課長を座長に選出し、国保制度改革における国保連合会の取り組みと30年度国保地区協議会交付金の算定方法などを協議した。

主な国保連合会の取り組みとして、事務局から昨年11月に策定された岩手県国保運営方針に基づき、30年度に予定している第三者行為求償事務の受託範囲の拡大内容のほか、新たな共同事業として実施予定の結核・精神に係る特別調整交付金申請事務について、処理の流れなどを説明した。

また、さらなる保険者支援を図るため、現在本会で検討中のレセプト2次点検業務の概要や、市町村事務処理標準システムの共同利用化に向けた全国状況等を説明し、今後の支援内容の検討に協力を要請した。

続けて、30年度国保地区協議会交付金の算定方法や交付時期について、2月27日開催の本会通常総会で予算が認められれば、30年6月末の交付予定で

あることを示したほか、31年度以降の交付金の在り方と、国保地区協議会事業の推進に向け、意見交換を行った。交付金の在り方では、各地区から出された見直しなどの意見をもとに、事務局で対応案を検討し、改めて次の会議で協議することとした。



今後の国保連合会事業やさらなる保険者支援の内容が説明された

## 創立60周年記念集会は6月に開催 現地研究会は葛巻町を予定

### 岩手県地域医療研究会「役員会」

岩手県地域医療研究会(会長・磯崎一太国保種市病院院長)は2月23日、国保会館で役員会を開催した。役員会では、29年度事業や国保直診医師共済会計の決算見込が報告されたほか、30年度事業計画や同研究会創立60周年記念集会の実施内容などが協議された。

役員会は磯崎一太会長を座長に選出して協議が行われ、29年度事業報告では、昨年6月に関係者約150人が参加した春季集会や各研修会の実施状況が報告されたほか、国保直診医師共済会計の決算見込などが示された。

30年度事業計画では、①研究会・研修会の開催②保健事業の推進③組織の強化④機関紙等の発行の4項目を柱とした計画案を協議した。

この中で、研究会・研修会の開催では、総会・地域医療研究会創立60周年



研究会・研修会の開催など4項目を柱とする事業計画を協議した

記念集会を「地域医療と総合診療」をテーマに国保会館で6月9日に開催することとし、岩手医科大学救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野の下沖収教授を講師に招いた講演と岩手県地域医療研究会前会長である一関市病院事業管理者の佐藤元美先生による記念講演を行うほか、秋季集会を11月17日に国保会館で開催する予定とした。

また、第12回現地研究会・役員会を葛巻町「ふれあい宿舎グリーンテージ」を主会場に8月18日の開催予定とし、昨年新築した国保葛巻病院で視察研修を行うこととしたほか、国保診療施設勤務医師等海外視察研修事業や「らんどあるつと」発行計画などの協議が行われた。

# 岩手県市町村医師養成事業 『修学生募集』

これからの岩手の地域医療を支える  
医学生を応援します！

## 【募集内容】

- ◆募集人員 15名程度
- ◆応募資格 将来、岩手県立病院及び市町村立病院等の医師として業務に従事しようとする意思がある方(平成30年4月現在、大学の医学部在籍の方に限る。)
- ◆募集期間 平成30年 3月1日(木)～20日(火)※1  
※1 ただし、後期試験合格者等(国立大学後期試験、公立大学中期試験合格者、追加・欠員補充合格者)に限り、3月30日(金)まで受付期間を延長する。
- ◆選考 面接及び書類審査  
平成30年 3月24日(土)※2  
※2 ただし、後期試験合格者等については、平成30年4月7日(土)に実施。
- ◆貸付金額 月額 20万円(入学一時金760万円※3)  
※3 入学一時金の貸付は、私立大学医学部入学者のみです。ただし、大学独自の修学資金制度を併用した者は貸付対象外です。
- ◆償還免除 貸付年月と同期間、岩手県立病院及び市町村立病院等勤務により償還免除されます。
- ◆応募方法 募集要項及び本会ホームページを御確認の上、郵送または持参にてお申込みください。

問合せ先：岩手県国民健康保険団体連合会 医師対策監 尾形・平賀  
〒020-0025 岩手県盛岡市大沢川原三丁目7番30号  
TEL：019-623-4324 FAX：019-622-1668  
ホームページURL：<http://www.iwate-kokuho.or.jp>

## 編集後記

寒い日が続くと温泉が恋しくなりませんが、入浴のタイミングは寝る1～2時間前が理想で、上昇した体温が床に就く頃から下がり始めるため、深い眠りに誘われるそうです。また、疲労回復と安眠には、38～40度の湯にみぞおちまでつかる半身浴が効果的。副交感神経が優位となり、体は休息モード、眠る準備が整います。温泉地の露天風呂が心地よいのも、上半身が涼しく下半身は温かいためのようですが、私もさっそく、温泉でリフレッシュしてきたいと思います▼さて、昭和37年から56年間発行してきた本紙「情報国保連」ですが、本号の1643号をもって最終号を迎えることとなりました。これまでご愛顧いただきました皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。ごいまして。▼今後は本会ホームページに「連合会トピックス」のほか、本会で開催した会議等資料のダウンロードを可能とした「資料室」を開設し情報発信していきますので、引き続きよろしく願います。(熊谷)